

(株)岡本吉之丞商店

臭い消してピカピカに

業務用酒販業の岡本吉之丞商店(本社福井市照手4丁目、岡本耕至社長)は、大豆由来成分を主原料にした特殊な洗浄剤を開発した。同社の従来品を基に消臭力をアップ。界面活性剤や漂白剤、安定化剤を含まず、手荒れを気にせず使えるという。介護施設などでの利用を想定している。

岡本社長は、知人が社長を務める環境関連商品販売のテラ(大阪市)の取締役を務めている。2011年には、同じく

岡本吉之丞商店(福井)が新洗浄剤

大豆由来成分 手荒れも防止



安全に消臭、除菌できる
洗浄剤「カンタンナSD」=福井市照手4丁
目の岡本吉之丞商店

医療機器販売などのハシノメディカル(本社福井市町屋3丁目、端野規則社長)の協力を得て、介護施設や病院への販売を目指す。岡本吉之丞商店は、介護分野を新たな成長の柱と位置付けており、今後1年間で3000施設への導入を目指す。

大豆由来の洗浄剤「カンタンナMD」を同社と共同で開発。内視鏡などの洗浄用として医療機関に販売してきた。

新製品「カンタンナSD」は「MD」がベース。関連製品などの検査機

製造はテラに委託。価格は3980円(4L)。

大豆活性化脂肪酸を使用し、ナノ化された分子の運動で汚れを分解・はく離し、洗浄する。今回、クマザサ、ゲンノショウコなど20種類以上の天然植物消臭成分を配合し、高い消臭効果を実現した。同商店によると、繊維製品などの検査機

「カケンテストセンター」(大阪府)の検査で、市販の消臭剤と同等の消臭力が証明された。

使用法は、タオルなどに吹き付けて、トイレや車いす、介護用品などを清掃する。価格は3980円(4L)。